



コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和4年12月1日(木) No.13 文責 校長 島田 二郎



師走です

いよいよ12月となり、今年も残すところ1ヶ月となりました。「師走」となり、師(昔の僧侶)も走り回るほど忙しいと言われる月となりました。計画的に年の瀬を迎える準備をすることで、多忙感が少しでも緩和されたらよいと思います。



さて、毎年のことですが12月になると「今年も早かった～」とか「今年は〇〇が良かった」など、今年の出来事を色々と振り返るようになります。

今年を振り返った時に思うのは「今年も新型コロナウイルスの影響を受けた」ということです。去年や一昨年に比べ、校内での感染の広まりは減りました。また行動制限も以前に比べ緩やかになったこともあり、学校内外での諸行事を行えるようになってきました。もちろん、多少の制限がかかることがあり、まだまだコロナ禍前と全く同じ要領での実施とまでは至っていません。それでも体育会や文化発表会、1年生自然教室、中体連大会や諸演奏会・コンクールなどを実施することができたことは大きな前進です。これらの活動をとおして、子ども達は心身ともに成長することができました。

学校は教科の勉強だけではなく、人として成長するための様々なことを学ぶ場です。これからも学校では、感染症対策をしながら子ども達の成長のために教育活動を推進していきたいと思います。

2年生は修学旅行に行ってきます

12月7日から9日の2泊3日で、2年生は奈良、京都へ修学旅行に行ってきます。感染症が若干、増加しつつあり、「第8波」との声も聞こえ始めました。やや心配もありますが、学校では修学旅行に向け、班別自主研修のコース確認や係活動、しおり読み合わせなど、様々な取組が行われています。

奈良、京都には、見て感じて学べる文化財等が多数あります。教科書にもたくさん写真等で掲載されています。それらを実際に現地へ行き、目の当たりにすることは大変意義深いことです。文化財等の鑑賞をとおして、当時の人々の思想に迫ったり、感受性が豊かになったり、価値観が広がったりします。そして、太宰府市の文化財との共通点や相違点を見つけることもあるかと思います。太宰府市の良さを再発見する機会です。奈良、京都はきっとたくさんの感動を子ども達に与えてくれることと思います。

また、2年生は中学校で初めての宿泊行事となります。1年次の自然教室はコロナ禍のため、日程や活動内容を大幅に変え、2泊3日から日帰りの活動へと変更になりました。今回の修学旅行で3日間、皆で活動したり、寝食を共にしたりすることで、お互いをより理解するようになります。こうして共に過ごすことで2学年集団の絆はさらに深まり、様々な活動をする時も、より質の高い活動をすることができるようになります。

修学旅行をとおして、さらに成長する2年生に期待が高まります。

